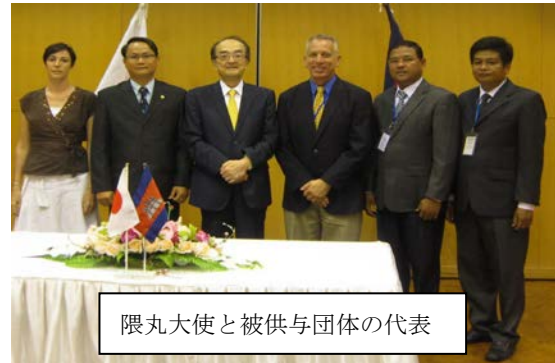


平成25年度草の根・人間の安全保障無償資金協力署名式典

3月25日（水）、平成25年度草の根・人間の安全保障無償資金協力署名式典が当館多目的ホールにて執り行われ、隈丸優次大使と被供与団体4団体（プレイベーン州ピーリアン保健行政区、アンコール小児病院、タケオ州プレイカバス保健行政区、国際NGO子供と発展）の各代表が贈与契約書に署名を行いました。



隈丸大使と被供与団体の代表



改修予定の手術棟

プレイベーン州ピーリアン保健行政区が実施する案件では、ピーリアン病院の既存の手術棟を改修・補強すると共に、最新の手術機材を設置することによって、医療サービスが向上し、緊急処置や手術を必要とする患者（約860人/年）及び妊産婦（約380人/年）が本病院で適切な処置を受けられるようになると期待されています。

また、アンコール小児病院が実施する案件では、アンコール小児病院に新たに新型の人工呼吸器4台を設置することにより、医療サービスの質の向上を図ると共に、年間の小児外来患者約15万名の緊急治療室及び集中治療室での治療を要する小児患者の死亡率削減に貢献することを目的としています。



人工呼吸器設置予定の緊急治療室



現在の内科・小児患者入院病棟

タケオ州プレイカバス保健行政区が実施する案件では、プレイカバス中央病院内科及び小児科病棟を建設し、トイレ6室及びベッド45床を設置することで、タケオ州プレイカバス保健行政区が管轄する地域住民約16万2千人への公的医療サービスの改善が期待されています。

国際NGO子供と発展が実施する案件では、コンポンスプー州チョンボク郡事務所敷地内に、保健センター1棟を建設し、同州内保健センター4箇所、トイレ1室を備えた産前・産後待機室各1棟を建設すると共に、同州内保健センター7箇所及びコンピセイ郡リファレル病院の助産師を対象に産科トレーニングを実施することにより、医療・母子保健サービスの質の向上が期待されています。



式典では、隈丸大使がスピーチを行い、本事業が、被供与団体によって適切に管理されることを望んでいると述べ、今回の支援がカンボジアの草の根レベルの人々に直接裨益し、日本とカンボジアの更なる友好促進につながることを願うと結びました。続いて、各被供与団体の代表が、日本国民及び政府への感謝の意を表明し、質の高い医療サービスの向上に努めること約束しました。

